

# 平成30年度 第1回 函館市恵山地域審議会会議録

開催日時	平成30年7月25日 水曜日 15時00分～16時30分			
開催場所	函館市恵山コミュニティセンター 集会室			
内 容	<p>議 題</p> <p>(1) 前回の意見等の集約結果と取組状況について (公開)</p> <p>(2) 平成29年度事業実績について (公開)</p> <p>(3) 地域振興全般に関する意見交換について (公開)</p> <p>その他</p>			
出席委員	齊藤勝昭 会長 蔦 秀子 委員 一家 景 委員	岸本静香 副会長 山口イチ 委員 北村優和 委員	長田征洋 委員 渡部春枝 委員 及川良子 委員	横手義孝 委員 鳴瀬道幸 委員 (計11名)
欠席委員	東福和彦 委員 成田 力 委員 中村満幸 委員 (計 3名)			
報道関係	北海道新聞社 1名			
事務局 出席者 職氏名	恵山支所長 松塚 康輔 恵山支所地域振興課長 田中 修一 恵山支所市民福祉課長 吉村 純子 恵山支所産業建設課長 小林 竜司 恵山教育事務所長 柴田 成 恵山病院主査 新里 健 恵山支所地域振興課主査 伊藤 勝利 恵山支所地域振興課主査 中釜 亨 恵山支所地域振興課主任主事 坪 直也 恵山支所地域振興課主任主事 成田 勝純 恵山支所地域振興課主任主事 平 浩之	(企画部 計画推進室) 計画調整課長 三原 克幸 計画調整課主事 品田 朋廣  (計13名)		
1 開 会 (15時00分)				
田中課長	<p>本日は、ご多用のところ、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。ただいまから、平成30年度第1回函館市恵山地域審議会を、はじめさせていただきます。</p> <p>なお、本日の会議は、地域審議会の設置に関する規程第8条第5項の定めによりまして、公開としております。</p> <p>はじめに、会議の開会にあたりまして、当審議会の齊藤会長より、ご挨拶をいただきましたきたいと存じます。よろしく申し上げます。</p>			

2 あいさつ	
斉藤会長	<p>本日は、委員の皆さまには大変お忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。真夏を迎え、浜ではコンブ漁が最盛期となっております。目を転じますと、西日本では平成に入って最悪の豪雨被害により、犠牲者が200名を超え、今もなお行方不明者がいるという状況です。また、多くの方が酷暑の中、避難所生活を余儀なくされ、犠牲者の方には心よりご冥福をお祈りし、避難生活をされている方にはお見舞い申し上げます。</p> <p>さて、本日の議題は平成29年度の事業実績の報告と地域振興全般に関する意見交換となっております。委員の皆さまの忌憚のないご意見、ご提言を期待し、開会のあいさつとします。ありがとうございます。</p>
新委員紹介	
田中課長	<p>会長ありがとうございました。</p> <p>ここで、地域審議会の委員に変更がありましたので、ご紹介いたします。恵山消防団から推薦をいただいております伊勢英男委員が退任され、後任として、恵山消防団第4分団分団長の中村満幸さんが委員になられております。なお、中村委員は都合により、本日は欠席されております。</p> <p>次に、恵山中学校PTAから推薦をいただいております笹田陽委員が退任され、後任として、えさん小学校PTAの北村優和委員が恵山中学校PTA副会長となりましたので、引き続き委員となっております。</p> <p>また、えさん小学校PTAからは、後任として、監査の一家景さんが委員になられております。</p> <p>以上、ご報告させていただきます。</p>
職員紹介	
田中課長	<p>次に4月の人事異動により、事務局の職員に変更がございましたので、紹介させていただきます。</p> <p>はじめに、産業建設課の小林課長です。</p> <p>次に、恵山教育事務所の柴田所長です。</p> <p>次に、地域振興課の中釜主査です。</p> <p>また、本日の審議会に企画部から職員が出席しておりますので、ご紹介いたします。</p> <p>企画部計画推進室計画調整課の三原課長です。</p> <p>同じく品田主事です。</p> <p>それでは、これより会議を進めて参りますが、進行につきましては、地域審議会の設置に関する規程第8条第2項の規定により、会長が議長を務めることになっておりますので、斉藤会長にお願いいたします。</p> <p>斉藤会長よろしく申し上げます。</p>
3 出席委員の報告	
斉藤会長	<p>それでは、次第の3、出席委員の報告についてですが、本日の出席委員は14名中11名と、過半数を超えていますので、地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により、会議は成立していることをご報告いたします。</p>

4 議題	
齊藤会長	次に、議題の（１）「前回の意見等の集約結果と取組状況について」事務局から説明させます。
田中課長	<p>それでは、「前回の意見等の集約結果と取組状況について」ご説明させていただきます。資料１をご覧ください。</p> <p>平成２９年度第３回恵山地域審議会を今年の３月２３日に開催しております。意見要望につきまして３点ほどございました。</p> <p>成田委員から、コンブのPRに関しまして、市内の子供たちに向けてもPRしてほしい。また、学校給食にコンブを使っていただくのもいいのではないかとご意見がございました。</p> <p>２つ目、鳴瀬委員から、地域審議会の設置期間終了後、地域の意見をくみ上げる方法を考えてほしい。また、４年に１度でもいいので、市長に来ていただいて、地域の声を聞いていただけるような場を作ってほしいというご意見・ご要望をいただいております。</p> <p>それに対して取組状況等ですが、これらの意見・要望につきましては、企画部の計画推進室を通しまして、関係部局の方にお送りしております。</p> <p>以上でございます。</p>
齊藤会長	<p>ただいまの説明について、ご質問・ご意見等はありませんか。</p> <p>（「なし」の声）</p> <p>それでは、議題の（１）を終わらせていただきます。</p> <p>次に議題（２）「平成２９年度事業実績について」に入らせていただきます。事務局から説明をお願いします。</p>
田中課長	<p>それでは、「平成２９年度事業実績について」ご説明させていただきます。</p> <p>資料２「事業実績一覧」をご覧ください。この資料は、合併建設計画などの中で、平成２９年度に予算化された事業の実績を一覧としてまとめた資料でございます。</p> <p>それでは、１ページの事業実績総括表をお開き願います。資料の見方ですが、左の列は、合併建設計画の５つの基本目標にかかる主要施策を記載しており、それぞれ、右側に「総額」、「全地域にわたるもの」、「恵山地域に関わるもの」の予算額と実績額を記載しております。なお、下の欄外に注釈を記載しておりますが、「全地域にわたるもの」につきましては、東部４地域を含めた函館市全域に共通する事業となっております。また、「総額」につきましては、「全地域にわたるもの」と恵山地域、そして記載はしていませんが、函館、戸井、楳法華、南茅部の各地域の合計額となっております。</p> <p>恵山地域に係る事業費につきましては、右側の欄の一番下になりますが、予算額、２億６、４５６万７千円に対しまして、実績額は、２億４、７５３万４千円となっております。</p> <p>主要施策ごとの事業と実績額につきましては、２ページから７ページにわたって記載しておりますので、それぞれ担当課より順次ご説明させていただきます。</p> <p>まず、私からは、地域振興課の所管分と、一部、企業局の所管分につきまして</p>

	<p>て、ご説明させていただきます。</p> <p>はじめに、4ページをお開き願います。基本目標2の「安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」のうち、(3)「交通・情報ネットワークの形成」の「その他関連事業の推進」でございますが、一番右の欄に記載しておりますとおり、実施事業は「地域内交通確保対策事業」でございます。この事業につきましては、地域振興課のほか、市民福祉課と教育委員会が所管しているバスの運行事業でございます。</p> <p>実績の内訳ですが、地域福祉バスの運行経費が531万1千円、恵山病院の送迎バスが633万1千円、つつじ保育園の園児送迎バスが787万円、スクールバス運行経費が1,608万円となっております。</p> <p>また、29年度におきましても、スクールバス1台を更新しておりますので、購入費が、1,638万2千円となっており、合計5,197万4千円となっております。</p> <p>次に、5ページをお開き願います。(5)「生活環境の整備充実」の「水道の整備」でございますが、一番右の欄をご覧ください。日ノ浜地区の配水管整備が4,069万円、また、日浦から女那川地区の漏水調査が91万5千円で、合計4,160万5千円となっております。</p> <p>地域振興課からは、以上でございます。</p>
吉村課長	<p>次に、市民福祉課関連部分につきましてご説明いたします。</p> <p>資料の5ページの(5)生活環境の整備充実中「合併処理浄化槽の設置促進」の実績でございますが、平成29年度の恵山地域の補助申請は2件でございます。</p> <p>次に6ページをお開き願います。</p> <p>3 やさしさとぬくもりのあるまちづくり(3)高齢者福祉の推進中、「ひとり暮らし高齢者等緊急通報システムの整備」の実績でございますが、恵山地域におきましては新規設置が14台、撤去が20台ございまして、29年度末の設置数は、130台という状況となっております。</p> <p>次に7ページをお開き願います。5 連携と交流によるまちづくり(1)住民参加の推進、「その他関連事業の推進」でございますが、恵山市民センター整備事業として、貯湯設備の改修工事を行いました。予算額940万円、実績額902万9千円でございます。なお、こちらは合併建設計画の対象外事業でございますが、参考として記載しております。</p> <p>市民福祉課からは、以上でございます。</p>
小林課長	<p>続きまして、産業建設課関連の平成29年度事業実績につきまして、資料に基づきご説明いたします。</p> <p>資料の2ページをご覧ください。1 多様で力強い産業を振興するまちづくりの(2)水産業の振興の漁港の整備につきまして、北海道が事業主体の漁港に関する機能保全計画策定一式等に対する市の負担金として支出しているものであり、日浦漁港分146万円、女那川漁港分138万1千円、恵山漁港分157万5千円、大澗漁港分113万1千円、合計554万7千円となっております。</p> <p>次に、漁場の造成(コンブ、ウニ、ふのり、天然のり)につきまして、こちらも北海道が事業主体のコンブ礁設置事業が実施され、実績額として1,332万3千円となっております。</p>

次に、ウニ・アワビ種苗等放流について、えさん漁業協同組合が事業主体で行っております、ナマコ種苗放流事業とウニ種苗深浅移植放流事業に対する市の補助金でございまして、ナマコ種苗放流事業につきましては、事業量として、7万5千個の種苗放流を行っており、事業費450万円に対し、補助率2分の1の225万円。ウニ種苗深浅移植事業につきましては、180万個のウニの移植放流を行っており、内訳としましては、日浦地先10万個、尻岸内地先60万個、古武井地先20万個、恵山地先45万個、恵山御崎地先45万個となっております。事業費2,849万円に対し、補助率10分の3の854万7千円の実績額となっております。

そのほか、恵山ウニ種苗センターに係る運営経費としまして、1,352万9千円となっております。

漁業用機械等購入資金の融資につきまして、漁業用機械等購入資金貸付金として、函館市全域に係る実績額8,838万円のうち、恵山地域分の実績としましては、6件で1,349万円が融資されております。

漁業後継者につきまして、これは漁業資格取得補助として、漁業者に対し小型船舶操縦士（1級・2級）の免許取得費の一部として、2分の1以内かつ3万円を上限に費用を補助する制度であり、函館市全域分に係る実績額16万1千円のうち、恵山地域分としましては1名で2万2千円の実績となっております。

その他関連事業の推進につきまして、漁業用流通施設整備事業として、えさん漁協が事業主体で行いました製氷貯氷施設整備事業の全体事業費1,890万円に対して、消費税を除く2分の1の額875万円を補助したものであります。水産多面的機能発揮対策事業として、えさんの海を豊かにする会が事業主体の藻場保全活動に対する市の負担金として49万4千円となっております。

続いて資料の3ページをご覧ください。

(3) 農林業の振興の市有林等の整備について、高岱町と柏野町にあります市有林の造林や間伐、下刈等で、51万6千円の実績となっております。

(5) 観光の振興の各種イベントの支援について、昨年5月に行われた恵山つつじまつりおよび今年2月に行われた恵山ごっこまつりの開催負担金として、それぞれ250万円、30万円となっております。

続いて資料の4ページをご覧ください。

2 安全で快適な生活環境を充実するまちづくりの、(2) 消防・防災・生活安全の充実の小規模治山事業について、治山施設補修事業として、日浦稻荷神社下の治山施設補修が実施され、事業費として818万5千円となっております。

(3) 交通・情報ネットワークの形成の生活道路の整備について、市道豊浦共同墓地線整備事業として、幅員6メートル、延長100メートルの市道および駐車場の整備を行い、用地購入費を含む平成29年度事業費として3,371万4千円、また平成28年度に実施した測量委託費等を含めた2か年の総事業費としては、3,750万5千円となっております。なお、この事業は合併建設計画対象外事業のため、集計金額には含まれておりません。

続いて資料の5ページをご覧ください。(5) 生活環境の整備充実の公園・緑地等の整備について、つつじ公園に隣接する前山を含む、周辺の草刈業務等を継続して実施しており、事業費405万円の実績となっております。

産業建設課の関係分については以上でございます。

柴田所長	<p>教育事務所の関連事項についてご説明いたします。</p> <p>7ページをお開きください。4 いきいきと学び地域文化を育むまちづくりにおける(1)生涯学習の推進の既存スポーツ施設の整備についてでございます。右の実績欄に記載のとおり、老朽化による雨漏りが顕著であった恵山総合体育館屋根の改修工事費用として、4,057万6千円となっております。</p> <p>次に、同じく(1)生涯学習の推進のその他関連事業の推進についてでございます。右の実績額の内訳についてご説明申し上げますと、生涯学習関係経費は、恵山ふれあいいきいき大学、新春書き初め会の開催関係経費として、8万4千円となっております。</p> <p>体育振興関係経費は、一般の方を対象とした冬季ゲートボール大会、小学生を対象としたミニバレーボール大会、バドミントン大会、水泳教室の開催関係経費、南茅部プール運行バス経費として、計24万4千円となっております。</p> <p>施設管理運営経費は、恵山総合体育館の臨時職員2名に係る人件費や、電気・水道・ガスの光熱水費、ボイラーや浄化槽などの各種設備に係る点検委託料などで、計621万6千円となっております。</p> <p>次に(2)学校教育の充実における外国人英語指導助手の活用についてでございます。実績といたしましては、えさん小学校に8回、恵山中学校に25回派遣を行っております。以上でございます。</p>
新里主査	<p>恵山病院の事業実績につきましてご説明いたします。</p> <p>資料の6ページをお開きください。3 やさしさとぬくもりのあるまちづくり(1)保健・医療の推進の「医療機器の購入ほか」264万5千円につきましては、リース事業の「透析装置ほか」の実績額を計上したものであります。内訳としまして、透析装置68万400円、浴槽装置52万8,120円、内視鏡洗浄機12万8,790円、輸液・シリンジポンプ16万650円、心電図28万2,528円、電動ベッド53万7,840円、牽引装置32万6,592円となります。以上でございます。</p>
斉藤会長	<p>各担当課から説明がございましたが、ただいまの説明について、ご質問・ご意見等は、ございませんか。</p>
松塚支所長	<p>議長すいません、資料3を同じ関連なので、ご説明します。</p>
小林課長	<p>すいません、資料3「恵山支所管内・主要魚種水揚げ状況」について、簡単にご説明いたします。</p> <p>資料をご覧ください。恵山支所管内の主要な魚種の水揚げ状況を平成27年度から平成29年度の3か年で記載をしております。</p> <p>右側から2欄目太線で囲っている欄が、平成28年度との比較を表しており、主要魚種の数量比では、「ます」「かれい」「ひらめ」「ほていうお」のほか「天然がごめ」を除くコンブ類が水揚げ増となっております。</p> <p>一番下の参考欄では、全体での比較を表しており、平成28年度との比較では数量・金額ともに前年を上回っているところではありますが、平成27年度と比較しますと、数量・金額ともに減少していることから、漁模様は回復傾向であるものの、一昨年のレベルまでは戻っていない状況となっております。</p> <p>次のページにつきましては、主な魚種の水揚げ数量の状況をグラフ化したものとなっております。資料3の説明については、以上でございます。</p>

斉藤会長	ありがとうございます。それでは、質問に入りたいと思います。
鳴瀬委員	ひとり暮らし家庭について、恵山地区の一人世帯の数はどれくらいか。その安全確認の方法はどのようにしているか。
吉村課長	人数については後ほど調べて回答します。安全確認の方法は、地域の民生委員や町会などの見守り活動の中で安全確認がとられていると理解しています。
鳴瀬委員	安全確認について、先日も日ノ浜でひとり暮らしの方が亡くなって数日たってから発見された。そのような状況があるので、まずはひとり暮らし世帯をきちんと把握して安全確認の方法をとらないと、またそのようなことが起きる可能性がある。どのような方法が、一人暮らしの家の人を守れるか。
吉村課長	最近、高齢世帯の単身の方が亡くなってからすぐに発見されなかったケースもあると聞き及んでおります。行政だけでは限界があるので、地域の方の力も借りながら、取り組んでいかなければならないと考えております。また恵山地区だけではなく、市全体、国全体としてもそのような課題については指摘されているところですので、機会をとらえて検討していきたいと考えております。
鳴瀬委員	人の命に関わる事なので、きちんとした取り組みをしないと。今見ていると、毎日のように恵山病院に検死の車が来ている。色々な事情で亡くなった方が運ばれてきていると思うが、この頃は毎日来ている。どうやったら安全を守れるかということをもっと真剣に考えないといけないと思っている。
吉村課長	今の貴重なご意見をいただき、みなさんの協力もいただきながら、そのあたりの体制を検討していきたいと思います。よろしく願いいたします。
長田委員	体育館の改修で昨年度行ったのは雨漏りの部分のみか。
柴田所長	昨年の体育館の屋根の改修工事につきましては、屋根の下地の撤去、張替えのほか、防水工事、管理事務所の方もつながっているので全面的に替えております。その他、事務所と体育館のつながる場所のホールがありますが、前の照明器具は撤去して、新設し、より明るくしております。そういったことから4千万円という工事になっております。
長田委員	30年度にも体育館などの改修の予定はあるのか。
柴田所長	今後の改修工事の予定につきましては、まだはっきりと計画を立てておりません。
長田委員	女性の方からの要望だが、トイレが一番大事だ。とてもトイレで用を足されないという話をよくしている。何とか予算をつけられるなら、トイレも改修した方がいいのではないかと考える。
柴田所長	今のご意見をいただきまして、前向きに検討していきたいと思います。

一家委員	<p>中学校のスクールバスの利用範囲についてですが、日ノ浜から古武井地域の生徒は、バスは通過するが利用はできない状況だ。この状況について、保護者が毎日送り迎えしているが、通過するのであれば利用できないか。</p>
柴田所長	<p>スクールバスの対象の区域につきましては、全市的な整合性等もございませので、いまここでいい答えはできないのですが、本庁とも協議のうえ検討してまいりたいと思います。</p>
横手委員	<p>2ページの漁業後継者対策に関係して、最近外国人をよく目にする。現在、外国人が何人くらい来ているのか、問題になっていることはないのか。また道南冷蔵の前に寮を新築しており、将来そこに入ると思うが、現在何人ほど就労者がいて、将来何人くらい入るのか、参考に聞きたい。</p>
田中課長	<p>今現在の就労者数は手元に資料がありませんので、後ほど確認してお答えしたいと思います。</p>
横手委員	<p>外国人が就労しているが、函館市民として登録しているのか、そこを確認したい。</p>
吉村課長	<p>外国人が日本全国どこでも住む場合は、日本人と同じように住民登録という住所の手続きをして、そこで生活するというようになっております。</p>
斉藤会長	<p>それであれば、市民福祉課の方で人数はわからないか。</p>
吉村課長	<p>漁業研修の形でいらしている方は、昨年から窓口で受けておりまして、だいたい13人か14人くらいだったかなという記憶は大雑把にはあるのですが、その他に外国人住民として管内に登録している方の人数については、いま資料がありませんので、それを含めての数でしたら、後ほどお答えすることはできます。</p>
岸本副会長	<p>外国人の漁業従事者は年間雇用であり、コンブ時期だけでも養殖コンブなどやっている所は欲しい。でもそれをどこにどういうふうに言えばいいかもわからないし、短期で働きたいという外国人はいないのか。</p>
三原課長	<p>企画部ですが、その点に関し、ご参考までにお知らせいたしますと、漁業で来ている方は技能実習生ということで、技能実習生の職種は77職種決まっております。漁船漁業と養殖という漁業でいえば2つ種類がありますが、その養殖の中にコンブは入っておりません。基本的には3年間の研修、実習になるので、一時的に短期間というふうには難しいと思います。多いのは人手不足ということで、市内では水産加工が多くなっております。これからはホテルが建設され、ベッドメイキングなどの部分の人手不足が進んでいくという事で、国も新たに外国人労働者を受け入れていかないと、日本の少子高齢化に対応できないということで、新たな在留資格ということで、来年の4月に向けて法案の改正を検討しており、その中でもしかすると、水産というのも候補に挙がっているらしいので、何らかの新たな資格ができて、その範囲の中でコンブとかもできるのかもしれませんが、今言われているのは、建設、介護、造船等を国</p>



<p>一家委員</p>	<p>で検討しておりますが、それは技能実習とは別の制度の在留資格となります。現状の技能実習制度の中では、コンブ養殖の繁忙期における一時的な就労はできないのかなと考えております。</p> <p>前年度、成田委員から、コンブのPRという事でお話があったが、コンブ以外にも、恵山地域の海産物でマス、ブリ、タラが揚がっている。産業まつりのようなものはごっこまつりやつつじまつりくらいだと思うが、地域振興の点で、漁業従事者と漁協、商工会、市とで連携して、海産物等のPRや産業まつりネットショップではないが、アンテナショップを設置するには予算がかかってしまうと思うので、地域販路の開拓というのはいかがでしょうか。</p>
<p>小林課長</p>	<p>販路の開拓ということですが、函館市の特産品、コンブはもちろん、イカや農産物もありますが、それにつきましては農林水産部で販路開拓事業というものを行っております、市外に出店してPRを行うという活動をしておりますので、こちらの地域で獲れるものについても、そういう活動の中でPRしていただくということで、本庁と連携してまいりたいと思っております。また従来から開催しております、ごっこまつりですとかつつじまつりの中でも漁業者さんですとか漁協さんなど、地域の事業者さんと連携しながら、こちらの産物についてのPRについても進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。</p>
<p>鳴瀬委員</p>	<p>現在、恵山病院で透析患者は何人で、これから追加の予定はあるか。この間、透析をお願いしに行ったら満杯で断られたという話を聞いたが、そういう状態なのか。</p>
<p>新里主査</p>	<p>透析患者数につきましては、現在、外来10名、入院9名、合計19名となっており、今年度の目標の一日18名を上回っております。紹介を断った件につきましては、通常、他医療機関からの紹介に際しましては、戸井の医療連携室を介して、医師が受け入れの判断を行って転院となりますが、患者様の状態やベッドの空き状況などにより、やむなく転院をお断りするケースもあります。ただ、看護師が、4月から予定外で4名退職になっており、看護師不足もありまして、受け入れられる状態になかった部分もありまして、地域の唯一の病院として、可能な限り地元の患者さんを受け入れるように努力はしているところではあります。このようなご指摘がありましたことは、関係部署に伝え、今後さらなる努力をしてまいりたいと思います。</p>
<p>鳴瀬委員</p>	<p>病院経営にとって、透析はかなり優良な治療だと思うので、なるべく受け入れ体制を整えれば、病院の経営としても、今、函病の経営が危ないという話も聞く状態の中で、透析患者を断らざるを得ない状態になっているのは、いかなものかと思えます。</p>

新里主査	受け止めておきます。
岸本副会長	さっきのコンブのPRについて、PRはもちろんしていただかないと困るが、道内に売ってほしい。ここのコンブはすべて道外に出してしまうので、知らなくて当たり前、見たことなくて当たり前になっている。利尻や日高など、有名なところばかり道内に出回っていて、ここのコンブが道内にないから、ダメだと思う。それを組合の理事の人に言っても、結局動かない。誰に言えばいいのかといつも思うが、市の方から働きかけはできないのか。
小林課長	コンブの流通に関してですが、地域経済の中で買い手さんがいる話になりますので、こちらからはなかなか、優先的にうちの物を道内でまわしてくださいという話ではできないと思います。ですので、いいものであることは間違いないと思いますので、品質を高めながら、皆さんに受け入れていただくような活動をしていくしかないのかなと思います。
岸本副会長	道内の人は欲しいと思っても買えないということになる。道内にPRしても意味もなく、道外向けにしなければならぬということになる。道内に売りたいと思う私たちは、組合に掛け合わないといけないということになるのか。どうすればいいのか。流通に関しては組合長に掛け合えばいいのか。
松塚支所長	今聞いていて、その通りだとは思いますが、我々も流通系統などわからないので、調べてからお話ししたいと思います。
鳴瀬委員	スクールバスとは別だが、以前は高校に通っている子供たちに対して、バスの補助制度があった。今、恵山管内で、旧市内の高校に通っている人がどのくらいいて、親が送迎しているのか、下宿させているのか、そういうのは把握しているのか。高校をなくしておいて、補助を打ち切るなどともないことだ。
柴田所長	実人数等は教育事務所では把握していないところです。ただ、おっしゃっていただいた5年間の補助という制度は、5年が経ち打ち切りということもございましたので、教育委員会としまして、北海道側に要望を、過去もしていたところではございますが、要望はしても、北海道の方からは5年をもっと伸ばすなど、いい回答はなかなかもらえておらず、難しいという現状は存じております。
鳴瀬委員	道でできないなら、函館市で単独でやったらいいではないか。
柴田所長	なかなか難しいところではありますが、本日ご意見があったということは、本庁の方にも伝えていきたいと思えます。
岸本副会長	何年も前にも言ったが、結局今でも同じままだ。
鳴瀬委員	高校をなくしておいて、後はあんたたち勝手に送りなさいとか、もう少し住民サイドに立ったことをやってもらわないと。子どもの教育など日本にとってこれから一番大事なことだ。

齊藤会長	他に何かございませんか。 それでは、議題の（２）を終わらせていただきます。
齊藤会長	次に議題の（３）地域振興全般に関する意見交換についてに入らせていただきます。地域振興全般に関してご意見などがありましたら、お願いします。
長田委員	新しいものは作るが、古いものは一向に解体されない。以前テレビ局が取材に来た際にも言ったが、すべてカットされて残念だった。一般家庭の、人がいなくなってつぶれそうな家だとか、教員住宅とか、何とかできないのか。今年も市の方では一向に進行していない。３０年度の計画ではどうなっているか。
田中課長	民間であれば空き家、市としても古い施設はありまして、課題があるという事は十分認識はしていますが、お金のかかる話になるものですから、すぐに解体というふうにもできないという所もあります。教員住宅の話も出ましたが、所管は教育委員会となりますが、そちらの方も課題としては認識しておりますので、毎年予算要求時期には検討をしている状況ですが、予算化まで行きつけないという現状です。かといって、このまま放置しておくわけにはいかないというのは十分理解しておりますので、そこは粘り強く予算要求を含めてやっていきたいと思っております。
長田委員	わかりましたが、今まで地域振興課に工藤市長が来て話し合いをしたことは過去あるのか。７年前、工藤市長が当選して２年目の年に、課長もつれて一度来たが、その時に町内会と大きな約束をしており、地域会館にテレビをつけてくれないかと言い、市長はつけると言ったが、いまだについていない。それともう一つ、今見ていると他県からいろいろな車が入ってきており、もし地震、津波などの災害があった場合、全く知らない人が、どこにどのような避難路があるのか、それを案内する看板を、市か町内会かどちらで設置するのかと聞いたたら、当然市だと言ったが、それもまだ１枚も貼られていない。もう７年も経っている。今度の地域審議会は、市長の都合に合わせて、一度呼べばいい。なるべくだったら出してください。
及川委員	道の駅などわえさんについて、どの食堂も短期間でなくなってしまうので、これからの予定など、分かり次第、分かる限りでいいので、お知らせ願いたい。
小林課長	実はこの後、皆様方にご連絡事項としてお話しするつもりでいましたが、今お話しします。この間、半年ほどレストランが閉まっている状況になっておりますが、７月の半ばに、新たな運営者さんが入って、今準備をしている状況でございます。再開につきましては、今日もお聞きしたところ、８月１日を目途に再開したいということで、お話を伺っております。レストランの内容としましては、自家焙煎のコーヒー、自家製のパン、クッキーですとか焼き物、サンドイッチなどの軽食系を中心というふうに考えているということでした。自家焙煎のコーヒー等については、オーガニックということ、無農薬なものというふうに特色を出していきたいと聞いておりましたので、レストランが再開した際には、皆様方にもご利用していただければと思っていたところでございます。営業期間ですが、冬期間はお客様の入りが見込めないものですから、１０月いっぱいまでということで、予定をしているということでございます。

山口委員	長田さんのお話に戻りますが、取材が、私たちリズムサークルの方に突然来たので、前もって分かっていたら事前に教えて頂きたい。夜で女性ばかりなので、いろいろと苦情も言われたので、お願いしたい。
田中課長	コミュニティセンターの利用状況ということでご紹介していたら、直接行ってしまったというのがありますが、今後、このようなことがあれば、なるべく早めにお知らせします。
蔦委員	つつじまつりは今年非常にお客さんも多くて良かったが、臨時のトイレの件で、苦情が多かった。小さい子供や高齢者、若くても膝の悪い方は使い勝手が非常に悪く、和式で、段をのぼってからの感じのトイレだった。また、海浜公園の女子トイレだが、3つとも和式で、障がい者用のは1か所あるが、時代に合わせて、和式から変える時期が来ているのではないかというのが一つと、市営住宅の件で、もしかすると支所の管轄でないのかもしれないが、市営住宅が老朽化しており、住んでいる方が減っていて、1棟が4戸あるが、1軒か2軒しか入っておらず、空き家が多くて雑草がひどい。住んでいる方にすれば、雑草や虫がひどいので何とかならないかという話があったが、そういうことは住宅公社に話さなければならないのか。
小林課長	つつじまつりの仮設トイレですが、どのような様式のトイレが設置できるのか、来年度に向けて、もし洋式が借りられるのであれば、設置したいと思しますので、よろしく願いいたします。それと海浜公園のトイレですが、たしかに和式のトイレとなっております。転換するにしても設置費がかかりますので、予算の関係になりますと、この場でやります、やりませんという話はできませんけれども、そういうお声があったということは受け止めさせていただいて、検討してまいりたいと考えております。
松塚支所長	住宅については、基本的に、住宅都市施設公社で管理しておりますので、除雪や雑草などに関しても住宅都市施設公社でやっております。うちの方から話をしておきます。
岸本副会長	小学生の帰宅案内の放送は、何十年もあの声のままだが、いつまで続けるのか。そろそろ変えないのか。
田中課長	確かに年数は経過していますが、逆に慣れてしまったという感じもあり、毎年変えるのがいいのか、定期的に変えるのがいいのか、小学校とも協議させていただきながら、検討させていただきたいと思えます。
横手委員	地域創生について聞きたい。2015年に始まって、20年までという期限があったと思うが、現在、函館市が交付金を受けてやった事業の実績というのは何らかの形で報道されたと思うが、再確認したい。また、あと2年の間に、今後の動向などあれば、参考に聞きたい。
三原課長	手元に資料はないのですが、商品券を配ったりもありましたし、地方創生交付金として、市長が主要施策として食の産業化ということを書いていて、それに絡めていろいろな事業をするための交付金を28年度から3年間もらうこ

	<p>とになっています。それと今年から移住・定住を増やそうとか、西部地区の狭あい化している住宅等を再整理して、若い人や一定の所得がある人などを呼び込もうということを市長が打ち出しまして、そのための計画を定める経費や、子どもの郷土愛を醸成するための施策など、色々な施策を組み入れて、交付金が認められるとか認められないというのがありますが、去年、今年はその二つが出てます。それ以前だと、先ほどの商品券や、新幹線の開業に伴い色々なイベントをやりましたが、その関係経費や、ユビキタスブイで交付金をもらった実績がありますが、詳細については、次回でも、こういうようなものがありましたというのをご説明できるのかなと思いますが、私の記憶の範囲だとそのような形になります。今後につきましては、地方創生交付金は今後も続くとは思いますが、なかなかハードルが高く、色々なことを組み合わせ、将来的に自立できる事業でないと交付金を獲得できないので、うまく組み合わせ、出せるものがあれば、今年度中や、来年度も含めて考えていきたいと思っています。</p>
横手委員	<p>もしできれば、簡単な資料を次回の会議でもいいので、見たい。</p>
三原課長	<p>次回、簡単にまとめて用意したいと思います。</p>
一家委員	<p>いまお話しいただいた食の産業化について、恵山地域ではどのようなことに使われたのかを知りたいので、次回の資料で欲しい。</p>
三原課長	<p>地域限定という事ではなく、全体となります。この間、南茅部のコンブのおいしさを知るツアーをやったと新聞報道でも取り上げられています。</p>
一家委員	<p>コンブというとやっぱり南茅部ばかりピックアップされてしまうので、恵山のコンブのPRの話もいただいたが、商工会などと連携し、産業まつりなど恵山コンブのPRの場を設けていただくことが可能であれば、漁協だけでなく、漁業の従事者に声をかけていただいて、参加、出店しませんかという声をかけられれば。こちらからは言える事ではない。漁業従事者の方などに、産業まつりに出店しませんかという連絡があるとうれしいなど。</p>
小林課長	<p>誤解されないようにという事ですが、コンブは全市として、函館市のコンブという売り込みになりますので、南茅部のコンブ、恵山のコンブ、戸井のコンブという地域分けは難しく、出来ない状況なので、そこはご理解いただきたいと思っています。ただ、その中でも、この地域で獲れるものについて少しでもPRしていくように連携をしていきたいということを、先ほど回答させていただきました。産業展の参加については、情報がありましたら、漁協の方に連絡するですとか、そういう形でお知らせしていければと思いますが、会社向けが多く、個人事業者対象にというのは少ないので難しいところもあると思います。</p>
薦委員	<p>みなさん質問をされる際、数字を求める場合は、毎度、この次までに回答となるが、今後は、案内をもらう際、前もって質問事項を事務局に出しておいて、この場で回答を得るような形にしないと、だいたい3か月から4か月後でなければ答えが出て来ないので、今後の地域審議会では、特に数字を求める質問があれば、前もって地域振興課に質問書を出すようにしたらどうか。</p>

斉藤会長	みなさんからそのようなご要望があれば、担当課に伝えたいと思います。
長田委員	議会や国会のようににはできないのではないか。
斉藤会長	それは一番最後に議論したいと思いますので、とりあえず前に進みたいと思います。ほかに地域振興全般に関して何かご意見などございませんか。  (意見なし)
斉藤会長	それでは、これで(3)を終わらせていただきます。続いて、次第の5その他に移ります。何かご意見のある方はいらっしゃいますか。
斉藤会長	田中課長、先ほどの意見について、前もって質問を出してくださいということで、私も前にそのようにしていたと記憶していますので、できますか。
田中課長	帰って検討しますが、案内を出してからやり取りの期間ということもありますので、そこを調整させていただきながら、出来る範囲でやらせていただきたいと考えております。
鳴瀬委員	地域審議会は、戸井、恵山、椴法華、南茅部と行われているが、自分たちには恵山地区の内容しかわからない。他の審議会でどのような議論が行われているのか、大まかでもいいので、教えてほしい。連携できるものは連携して函館市に向かっていかないと、少しでも函館市に声を聞いてもらわないといけないので、各地域審議会が連携していかないといけないと思うので、方法を考えてください。
田中課長	それぞれ地域審議会をやっておりまして、その後少し時間はかかりますが、会議録も作っており、ホームページでも公開しております。ホームページから見ることもできますし、この場でも、まとめてというのは難しいですが、会議録と同じものであれば、お渡しすることも可能なのかなと思いますので、検討させていただきたいと思います。
斉藤会長	他にご意見等ございませんか。 なければこの辺で切りたいと思いますが。  (意見なしの声)  発言が無いようですので、その他を終わらせていただきます。  以上を持ちまして、本日の審議会の日程はすべて終了いたしました。 次回の開催は、10月を予定しております。日程、議題内容については、正副会長に一任願いたいと思いますが、よろしいでしょうか。  (異議なしの声)

斉藤会長	それでは、これもちまして、平成30年度第1回函館市恵山地域審議会を終了いたします。お疲れ様でした。
閉 会（16時30分）	